

教科名	科目名	単位数	年・組
地理歴史・公民	日本史応用	4	3年10組

使用教科書	副教材
『詳説 日本史B』(山川出版社)	『詳録新日本史史料集成』(第一学習社) 『最新日本史図表』(第一学習社) 『山川 一問一答 日本史』(山川出版社) 『改訂版重要問題演習日本史B』(数研出版)

1. 学習の目標

日本史A及びB、日本史研究との連携で日本史に関する知識を深めるため、基本的な「学習の目標」は不変である。我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察させ、我が国の文化を伝統の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚を国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。原始・古代から現代までの日本史の展開を、世界史的視野に立ち、多くの要素を踏まえ、幅広い見方で大きく考えさせる。また、歴史の展開の中で、日本文化の特色やその伝統の形成について認識を深める。その際、歴史の過程を実証的に考察させることによって歴史の見方・考え方を身につけさせ、歴史的思考力を育成する。そして、民主的・平和的な国家・社会を形成する自覚と国際社会に主体的に対応できる資質を養うことをねらいとする。

2. 評価内容

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見だし、世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現する。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて理解し、その知識を身に付けている。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	9章近代国家の成立 1, 開国と幕末の動乱 2, 明治維新と富国強兵 3, 立憲国家の成立と日清戦争 4, 日露戦争と国際関係	<ul style="list-style-type: none"> 明治維新の前提として、1853年のペリー来航以後の内外情勢を捉える。 明治の前半期として、明治初年の維新期に近代化の諸改革を遂行し、続いて立憲体制の樹立に努めた国内情勢を理解させる。 	授業態度 授業ノート提出 小テスト 定期試験の成績
	5	5, 近代産業の発展 6, 近代文化の発達 10章近代日本とアジア 1, 第一次世界大戦と日本 2, ワシントン体制 3, 市民文化	<ul style="list-style-type: none"> 大正期に入り、日本が帝国主義列強の一員として国際政局に登場した概要を理解させる。 第一次世界大戦、満州事変、日中戦争、第二次世界大戦、太平洋戦争と、戦争の道を進む状況を理解させるとともに、この間の大正デモクラシーといった文化的特徴にも留意して指導する。 	
	6	4, 恐慌の時代 5, 軍部の台頭 6, 第二次世界大戦 11章占領下の日本 1, 占領と改革 2, 冷戦の開始と講和 12章高度成長の時代	<ul style="list-style-type: none"> 戦争の敗北によって、日本は史上初めて外国軍隊に占領されたが、その後の占領期の民主化政策と1950年代の独立回復の動きを考える。 独立後、経済・文化国家としての道を歩み、1960年代に高度経済成長を達成する日本の経済復興を世界的な視野から理解 	

2		1, 55年体制 2, 経済復興から高度成長へ	させる。 ・1970年代から80年代にかけて経済大国として成長する日本の様子と、1990年代の現代、冷戦終結という新しい情勢の下で流動する内外情勢を分析する。	授業態度 授業ノート提出 小テスト 定期試験の成績
	7	1 3章激動する世界と日本		
	9	1, 経済大国への道 2, 冷戦終結と日本社会の動揺		
	10	問題演習		
	11	(一般対策)		

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。